第91回 簿記実務検定第2級試験問題

商業簿記

(制限時間 1 時間 30 分)

1 下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現	金	当	座	預	金	受	取	手	形	不	渡	手	形
仮	払	法	人	税	等	備	品	備	品	減	価	償	却
買	掛	金	未	払	法	人	税	等	未	払	配	当	金
資	本	金	資	本	準	備	金	利	益	準	備	金	別
繰	越	利	益	剰	余	金	売	上	受	取	利	息	固
広	告	料	支	払	利	息	社	債	発	行	費	固	定
支	店	本	支	店	本	支	店	本	支	店	本	支	店

- a. 岩手商事株式会社（決算年/回）は、中間申告をおこない、前年度の法人税・住民税及び事業税の合計額 $\yen 3,580,000$ の2分の1を小切手を振り出して納付した。
- b. 鳥取商店は、北東商店から商品の売上代金として裏書譲渡されていた西南商店振り出しの約束手形 $\yen 610,000$ が不渡りとなったので、北東商店に償還請求をした。なお、このために要した諸費用 $\yen 4,000$ は現金で支払った。
- c. 岡山商事株式会社（発行済株式数 5,800 株）は、株主総会において、繰越利益剰余金を次のとおり配当および処分することを決議した。ただし、繰越利益剰余金勘定の貸方残高は $\yen 4,700,000$ である。
 利益準備金 $\yen 203,000$ 配当金 / 株につき $\yen 350$ 別途積立金 $\yen 1,890,000$
- d. 秋田商会の本店は、広告料 $\yen 300,000$ を現金で支払った。ただし、このうち $\yen 120,000$ は支店の負担分である。（本店の仕訳）
- e. 山形商店は、期首に取得原価 $\yen 620,000$ の備品を $\yen 205,000$ で売却し、代金は小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。なお、この備品の売却時における帳簿価額は $\yen 155,000$ であり、これまでの減価償却高は間接法で記帳している。
- f. さきに、福島商店に対する買掛金の支払いのために振り出した約束手形 $\yen 300,000$ について、支払期日の延期を申し出て、同店の承諾を得た。よって、支払期日の延期にともなう利息 $\yen 6,000$ を加えた新しい手形を振り出して、旧手形と交換した。
- g. 島根物産株式会社は、次の条件で社債を発行し、全額の払い込みを受け、払込金は当座預金とした。なお、この社債の発行に要した諸費用 $\yen 508,000$ は小切手を振り出して支払った。

発行条件	額面総額	$\yen 35,000,000$	払込金額	額面	$\yen 100$ につき	$\yen 99.40$
	償還期限	6年	利率	年1.2%	利払い	年2回

2

那覇商店は、特殊仕訳帳として、現金出納帳・当座預金出納帳・仕入帳・売上帳を用いている。次の取引を仕入帳と普通仕訳帳に記入し、総勘定元帳に転記しなさい。また、補助簿である買掛金元帳と支払手形記入帳にも記入しなさい。

- ただし、
- i 総勘定元帳への転記は、特殊仕訳帳から直接おこなうこと。
 - ii 仕入帳は、月末に締め切るものとする。
 - iii 普通仕訳帳の小書きは省略する。
 - iv 仕入帳に記入済みの取引も転記すること。
 - v 総勘定元帳と買掛金元帳の記入は、日付と金額を示せばよい。

取 引

／月／5日 山口商店から／4日に仕入れた商品について、次のとおり返品した。なお、この代金は買掛金から差し引くことにした。

A 品 500 個 @ ¥110

／8日 広島商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。

C 品 600 個 @ ¥770

D 品 800 〃 〃 〃 220

20日 広島商店に対する買掛金を次の約束手形#2/を振り出して支払った。

No. 21..... 約 束 手 形		支払期日 令和〇年 3 月 20 日		那覇 4701 0914-047
広島県広島市中区舟入南六丁目7-11 広島商店 楠木 緑子 殿		支払地 沖縄県那覇市		
取 入 印 紙 200円	金額 ¥198,000	支払場所 株式会社 南銀行本店		
上記金額をあなたまたはあなたの指図人へこの約束手形と引き替えにお支払いいたします				
令和〇年 1 月 20 日				
振出地 住所 沖縄県那覇市松山1丁目16-1				
振出人 那覇商店				
大城 悠 真				

25日 山口商店から次の商品を仕入れ、代金はさきに支払っている内金 ¥50,000を差し引き、残額は掛けとした。

E 品 350 個 @ ¥440

3

次の各問いに答えなさい。

(1) 支店会計が独立している青森商店（個人企業 決算年/回 12月31日）の下記の資料によって、次の金額を計算しなさい。

- a. 支店勘定残高と本店勘定残高の一致額 b. 当期の売上原価

資 料

i 12月30日における元帳勘定残高（一部）

	本 店	支 店
繰越商品	¥102,000	¥49,000
買掛金	540,000	370,000
支店	438,000 (借方)	———
本店	———	410,000 (貸方)
仕入	793,000	500,000

ii 12月31日における本支店間の取引

- ① 本店は、支店の買掛金 ¥240,000 を現金で支払った。支店はその報告を受けた。
- ② 支店は、本店が12月29日に送付していた商品 ¥28,000 (原価) を受け取った。

iii 決算整理事項（一部）

期末商品棚卸高 本店 ¥98,000 支店 ¥84,000 (資料 ii ②の商品も含まれている)

- (2) 宮城商店（個人企業 決算年/回 /2月3/日）の決算日における次の受取地代勘定の（①）と（②）に入る金額と（③）に入る勘定科目を記入しなさい。ただし、地代は、毎年同じ金額を3月末と9月末に翌月以降の6か月分として受け取っている。

受 取 地 代	
12/31 前受地代 (②)	1/1 前受地代 210,000
〃 (③) ()	3/31 当座預金 (①)
	9/30 当座預金 ()
()	()

- (3) 中国商店では5伝票制を採用し、仕入・売上の各取引については、代金決済条件にかかわらず、すべて、いったん掛け取引として処理する方法で起票している。よって、

- a. /月/9日の略式伝票を集計したさいの仕訳集計表の（ア）と（イ）に入る金額を計算しなさい。ただし、下記の取引について、必要な伝票に記入したうえで計算すること。
- b. 下記の仕訳集計表から、総勘定元帳に転記後の当座預金勘定の残高を計算しなさい。ただし、/月/8日までの当座預金勘定の残高は ¥754,000（借方）であった。

取 引

/月/9日 松江商店へ商品 ¥470,000 を売り渡し、代金のうち ¥200,000 は同店振り出しの約束手形で受け取り、残額は同店振り出しの小切手で受け取った。

入金伝票	振替伝票 (借方)	振替伝票 (貸方)
売掛金 256,000	買掛金 230,000	当座預金 230,000
受取利息 65,000	受取手形 305,000	売掛金 305,000
売掛金 150,000	買掛金 240,000	支払手形 240,000
() ()	当座預金 180,000	前受金 180,000
	雑費 30,000	当座預金 30,000
	() ()	() ()

出金伝票
買掛金 365,000
当座預金 200,000
雑費 78,000
() ()

売上伝票
米子商店 469,000
倉吉商店(返品) 56,000
出雲商店 875,000
() ()

仕入伝票
倉敷商店 326,000
津山商店 410,000
下関商店(値引) 37,000
福山商店 205,000

仕訳集計表
令和〇年/月/9日

借方	平	勘定科目	平	貸方
		現金		
		当座預金		
		受取手形		
		売掛金		(ア)
		支払手形		
		買掛金		
		前受金		
		売上		
		受取利息		
		仕入		
		雑費		
(イ)				(イ)

4

東北商店（個人企業 決算年/回 /2月3/日）の総勘定元帳勘定残高と付記事項および決算整理事項は、次のとおりであった。よって、損益計算書（2区分）と貸借対照表を完成しなさい。

元帳勘定残高

現金	¥ 694,000	当座預金	¥ 2,560,000	受取手形	¥ 1,800,000
売掛金	2,960,000	貸倒引当金	9,000	有価証券	1,340,000
繰越商品	1,470,000	備品	2,800,000	備品減価償却累計額	700,000
支払手形	1,570,000	買掛金	1,851,000	借入金	1,500,000
仮受金	260,000	従業員預り金	140,000	資本金	7,000,000
売上	21,980,000	受取手数料	196,000	仕入	15,132,000
給料	5,280,000	支払家賃	715,000	保険料	228,000
消耗品費	86,000	雑費	96,000	支払利息	45,000

付記事項

- ① 仮受金 ¥260,000 は、盛岡商店に対する売掛金の回収額であることが判明した。

決算整理事項

- a. 期末商品棚卸高 ¥1,720,000
- b. 貸倒見積高 受取手形と売掛金の期末残高に対し、それぞれ/%と見積もり、貸倒引当金を設定する。
- c. 備品減価償却高 定額法による。ただし、残存価額は零（0）耐用年数は8年とする。
- d. 有価証券評価高 有価証券は、売買目的で保有している次の株式であり、時価によって評価する。
南東商事株式会社 200株 時価 /株 ¥6,400
- e. 消耗品未使用高 未使用分 ¥32,000 を消耗品勘定により繰り延べる。
- f. 保険料前払高 保険料のうち ¥180,000 は、本年4月/日からの/年分を支払ったものであり、前払高を次期に繰り延べる。
- g. 家賃未払高 家賃は/か月 ¥65,000 で、12月分は翌月4日に支払う契約のため、見越し計上する。

第91回 簿記実務検定 2級 **商業簿記** [解答用紙]

1	借	方	貸	方
	a			
	b			
	c			
	d			
	e			
	f			
	g			

1		2		3		4		総得点	
得点		得点		得点		得点			

試 験 場 校	受 験 番 号

4

損 益 計 算 書

東北商店

令和〇年 / 月 / 日から令和〇年 / 2月3 / 日まで

(単位：円)

費 用	金 額	収 益	金 額
期首商品棚卸高		売上高	
仕入高		期末商品棚卸高	
()			
給料		()	
()		受取手数料	
()			
支払家賃			
保険料			
消耗品費			
雑費			
支払利息			
()			
()			

貸 借 対 照 表

東北商店

令和〇年 / 2月3 / 日

(単位：円)

資 産	金 額	負債および純資産	金 額
現金		支払手形	
当座預金		買掛金	
受取手形 ()		借入金	
貸倒引当金 ()		従業員預り金	
売掛金 ()		()	
貸倒引当金 ()		資本金	
有価証券		()	
商品			
()			
()			
備品 ()			
減価償却累計額 ()			

4	得点
---	----

第91回 簿記実務検定 2級 商業簿記 [解 答]

借 方		貸 方	
a	仮払法人税等 1,790,000	当座預金 1,790,000	
b	不渡手形 614,000	受取手形 610,000 現金 4,000	
c	繰越利益剰余金 4,123,000	利益準備金 203,000 未払配当金 2,030,000 別途積立金 1,890,000	
d	広告料 180,000 支店 120,000	現金 300,000	
e	備品減価償却累計額 465,000 当座預金 205,000	備品 620,000 固定資産売却益 50,000	
f	支払手形 300,000 支払利息 6,000	支払手形 306,000	
g	当座預金 34,790,000 社債発行費 508,000	社債 34,790,000 当座預金 508,000	

令和 〇年	勘定科目	摘 要	元 丁	買掛金	諸 口
		前ページから		396,000	297,000
/ 14	買掛金	山口商店 掛 け	買2	275,000	
		A 品 500個 @ ¥110			
		B 品 400〃 〃 〃 550			
	15 買掛金	山口商店 掛け返品	買2	55,000	
		A 品 500個 @ ¥110			
	18 買掛金	広島商店 掛 け	買1	638,000	
		C 品 600個 @ ¥770			
		D 品 800〃 〃 〃 220			
	25 前払金	山口商店 内 金	9		50,000
	買掛金	掛 け	買2	104,000	
		E 品 350個 @ ¥440			
				1,413,000	347,000
	31	買掛金	16		1,413,000
	〃	総仕入高	27		1,760,000
	〃	仕入返品高	16/27		55,000
		純仕入高			1,705,000

令和 〇年	摘 要	元 丁	借 方	貸 方
	前ページから		2,075,000	2,075,000
1 20	(買 掛 金)	16/買1	198,000	
	(支 払 手 形)	15		198,000

総勘定元帳					
前払金 9			支払手形 15		
1/1 前期繰越	130,000	1/25	50,000	1/8	297,000
				20	198,000
買掛金 16			仕入 27		
1/20	198,000	1/1 前期繰越	418,000	1/31	1,760,000
31	55,000	31	1,413,000	1/31	55,000

買掛金元帳					
広島商店 1			山口商店 2		
1/20	198,000	1/1 前月繰越	198,000	1/12	220,000
		4	396,000	15	55,000
		18	638,000	14	275,000
				25	104,000

支払手形記入帳											
令和○年	摘要	金額	手形種類	手形番号	受取人	振出人	振出日	満期日(支払期日)	支払場所	てん末	
										月	日
/ 8	仕入れ	297,000	約手	20	鳥取商店	当店	/ 8	3 8	南銀行本店		
20	買掛金支払い	198,000	約手	21	広島商店	当店	1 20	3 20	南銀行本店		

3

(1)	a	¥	678,000	b	¥	1,290,000
-----	---	---	---------	---	---	-----------

(2)	①	¥	420,000	②	¥	210,000	③	損益
-----	---	---	---------	---	---	---------	---	----

(3)	a	ア	¥	1,237,000	イ	¥	5,417,000
	b		¥	874,000			

4

損益計算書			
東北商店		令和○年 / 月 / 日から令和○年 / 2月3 / 日まで	
(単位:円)			
費用	金額	収益	金額
期首商品棚卸高	1,470,000	売上高	21,980,000
仕入高	15,132,000	期末商品棚卸高	1,720,000
※(売上総利益)	7,098,000		
	23,700,000		23,700,000
給料	5,280,000	(売上総利益)	7,098,000
(貸倒引当金繰入)	36,000	受取手数料	196,000
(減価償却費)	350,000		
支払家賃	780,000		
保険料	183,000		
消耗品費	54,000		
雑費	96,000		
支払利息	45,000		
(有価証券評価損)	60,000		
※(当期純利益)	410,000		
	7,294,000		7,294,000

(i) 貸倒引当金繰入は、貸倒償却でもよい。
(ii) ※印の売上総利益と当期純利益の記入は、赤記でもよい。

貸借対照表			
東北商店		令和○年 / 2月3 / 日	
(単位:円)			
資産	金額	負債および純資産	金額
現金	694,000	支払手形	1,570,000
当座預金	2,560,000	買掛金	1,851,000
受取手形(1,800,000)		借入金	1,500,000
貸倒引当金(18,000)	1,782,000	従業員預り金	140,000
売掛金(2,700,000)		(未払家賃)	65,000
貸倒引当金(27,000)	2,673,000	資本金	7,000,000
有価証券	1,280,000	(当期純利益)	410,000
商品	1,720,000		
(消耗品)	32,000		
(前払保険料)	45,000		
備品(2,800,000)			
減価償却累計額(1,050,000)	1,750,000		
	12,536,000		12,536,000